
水狼

連弥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

水狼

【Nコード】

N9936H

【作者名】

連弥

【あらすじ】

雨の日だけに現れる、仕事屋水狼。ただ、仕事をする。それだけで、始めたチーム。彼らの遊びは、軽くない！？

00：雨音アメオト

雨が降る。

ポツポツ、ポツポツと。

雨は嫌いだ――。

全てを飲み込む、暗闇と共にやってくるから。

「また、雨？」

雨の降る空を見上げていると、隣にいる少女がそう言った。

「そうだね……。また、雨だ」

少女は、自分の尻尾を振りながら、口元にかすかな笑みを浮かべた。

「じゃあ、また遊べるね？」

少女の緑色の目が赤く染まる。

僕の藍色の目も赤く染まる。

近くの茂みから、緑色の眼が飛び出してくる。

十匹の狼、と人間。

「今日は、どうするアックア、ネーヴェ」

「アクアでいいよって、いつも言ってるよ。フーモ」

マントに身を包む、少年はフードを深くかぶりながら

「……アクア」

「それで、よし」

また、少女は笑みを浮かべる。

「じゃあ、メンバーそろったね」

一呼吸置いて

「水狼。遊びに行くよ?」

「いいよ」

「大丈夫だ」

僕、ネーヴェとアクアとフーモと狼達。

水狼、スイロウ。

雨の日にのみ活動する、仕事屋。

遊び、開始。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9936h/>

水狼

2010年11月6日14時30分発行